

マジェランアイナメ 南極海

Patagonian Toothfish, *Dissostichus eleginoides*

管理・関係機関

南極海洋生物資源保存委員会 (CCAMLR)

最近一年間の動き

2004/05 年漁期は、CCAMLR 水域内のメロ類の報告漁獲量は、18,321トン(内 IUU 漁獲量 2,076トンを含む)で、前年 2003/04 漁期 18,500トン並であった。これまで本漁業に対して IUU 操業による推定漁獲量が多く、資源状態に悪影響を及ぼしていることが強く懸念され、管理措置上にも大きな問題を抱えていたが、CCAMLR は IUU 操業に対する強い対策を講じ、2002/03 漁期 10,070トンから 2003/04 漁期 2,622トンへ激減した。2004/05 漁期は 2,076トンと前漁期に比べて小幅な減少となった。

生物学的特性

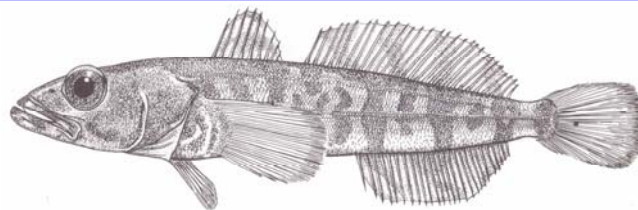
- 寿命: 約 50 年
- 成熟開始年齢: 6~9 歳
- 産卵期・産卵場: 6~9 月、南極周辺海域の陸棚斜面水域
- 索餌場: 南極周辺海域の陸棚斜面水域
- 食性: オキアミ類、魚類、イカ類、甲殻類
- 捕食者: 海産哺乳類

利用・用途

冷凍切身(総菜用)、みそ漬けなどの加工品

漁獲の動向

CCAMLR の漁獲証明制度から算出した 2004/05 期のマジェランアイナメ(ライギョダマシ含む)の総漁獲量は、31,168トン(2003/04 期 34,306トン)である。CCAMLR の枠組みの下で操業している漁船による報告漁獲量は、16,250トン(2003/04 期 18,500トン)である。CCAMLR 水域外からの漁獲報告量が 12,847トン(2003/04 期 15,806トン)、CCAMLR 水域内の IUU(違法・無報告・無規制)操業の推定量は 2,076トン(2003/04 期 2,622トン)と見積られた。IUU 漁獲量は、前漁期に比べて小幅な減少となった。



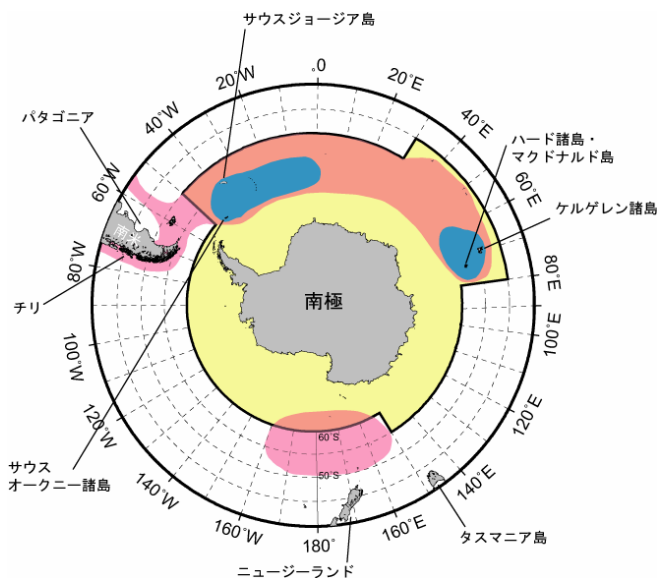
Fisher and Hureau 1985



CCAMLR HP ©B. Watkins

漁業の特徴

本資源対象の漁業の始まる前、魚類対象のトロール漁業が 1970 年頃からサウスジョージア水域、ケルゲレン諸島水域で行われていた。その漁場は 1977/1978 年以降、サウスオークニー諸島水域の高緯度域へ拡大したが、高い漁獲量は長く続かず、1980 年代初期に急減した。その後、代替としてマジェランアイナメとライギョダマシが対象の底はえ縄漁業がサウスジョージア水域、ケルゲレン諸島水域及び南極大陸周辺の陸棚域で始まった。



CCAMLR 水域(黄色)とマジェランアイナメ主分布域(赤)、主漁場(青)

資源状態

CCAMLR 水域全体での資源量調査は行われていないが、本種の主な分布域が陸棚・陸棚斜面域であることから、右下図に示された生息海底深度面積と生物データの組合せで水域ごとに資源量を毎年推定している。そのような推定を積算し、全体の推定資源量としている。

管理方策

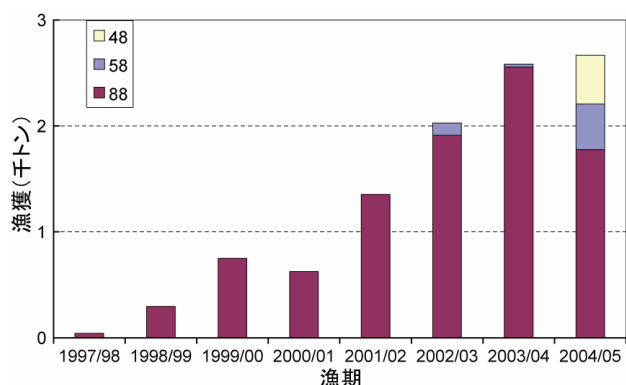
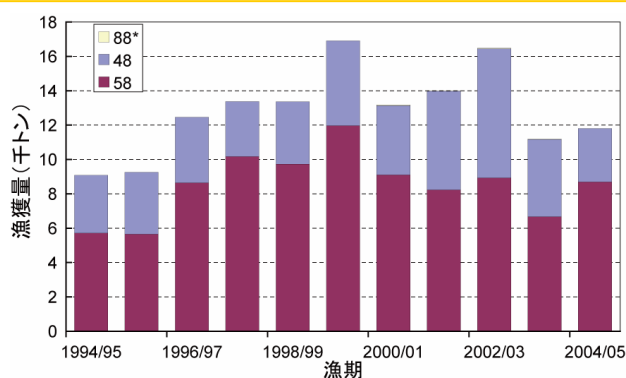
CCAMLR の科学委員会の魚類資源評価作業部会が、魚類の資源管理のための科学的検討を行っている。検討方法は海区により異なり、漁獲量と CPUE の動向から判断するか、資源動態モデルによるシミュレーションで判断する。その結果、CCAMLR が管理措置として取り決めた、2006/07 漁期（同前年 2005/06 漁期）のマジェランアイナメ（一部ライギョダマシ含む）の漁獲制限量は、48.3 海区（サウスジョージア島水域）3,554 (3,556)トン、48.6 海区（大西洋区）910 (910)トン、58.4.1 海区（インド洋区）600 (600)トン、58.4.2 海区（インド洋区）780 (780)トン、58.5.2 海区（マクドナルド・ハード島水域）2,427 (2,584)トン、88.1 海区（太平洋区）3,032 (2,964)トン、88.2 海区（太平洋区）547 (487)トン等となっている。

資源評価まとめ

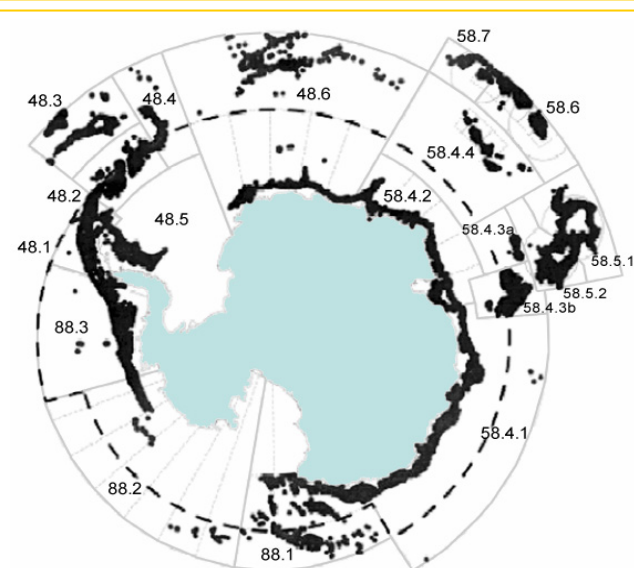
- CCAMLR 科学委員会の魚類資源評価作業部会で検討を実施
- 資源は中位水準、横ばい

資源管理方策まとめ

- CCAMLR が毎年の漁獲報告データに応じて、その都度、漁獲制限量を算出
- 漁獲制限の取り決めのない領海区では禁漁措置



南極海 CCAMLR 水域内の海区毎のマジェランアイナメ(上)とライギョダマシ漁獲量(データは CCAMLR 2006)



マジェランアイナメ・ライギョダマシの新規・開発漁業の際に義務付けられる小規模調査ユニット枠。影の部分は、両種の主棲息深度 500~1,800mの陸棚斜面域。太破線は二種の区分線で、北側域;マジェランアイナメ、南側域;ライギョダマシ(CCAMLR 保存管理措置)。

マジェランアイナメの資源の現況 (要約表)

| 資源水準 | 中位 |
|---------------------|---------------------------|
| 資源動向 | 横ばい |
| 世界の漁獲量 (最近 5 年) | 3.1~6.3 万トン 平均:4.7 万トン |
| 我が国の漁獲量 (最近 5 年) | 0~262 トン 平均:64 トン |